

眼科



眼科部長
桑原 創一郎

診療内容と実績

当科では、メガネ、視力矯正に関する相談や処方を行っています。ドライアイ・アレルギー性結膜炎など季節性の外眼部疾患の治療を行っています。

未熟児網膜症の診察をはじめ、乳児期の涙目、さかさまつ毛の治療、幼児期から学童期の視力検査、弱視訓練、斜視検査、手術、内反症の治療、アレルギー性結膜炎、アレルギー性白内障、網膜剥離などの診察・治療をしています。

さらに成人になってからの緑内障や、高血圧、糖尿病、自己免疫疾患に伴う眼病変に対して、血液外来・高血圧外来・糖尿病外来・内科外来・循環器外来・耳鼻科・小児科・神経内科・脳神経外科・認知症疾患医療センター等と緊密な連携のもと、治療をすすめています。

手術は、白内障手術を主として年間600件以上です。さらにレーザー治療にて、糖尿病性網膜症、眼底出血、中心性網膜症、網膜裂孔、緑内障、白内障、術後の治療も行っています。

プログラムの目的と特徴

当科の特徴は、関係各科と速やかで密接な連携を図りながら協力して治療を行っていることです。

研修内容と到達目標

■短期研修

- ・基本的検査と治療方針を学ぶ
- ・眼科的な正常と異常を学ぶ
- ・眼科プライマリケアを学ぶ
- ・感染性疾患を適切に診断し、治療方針を立てる
- ・紹介状のある症例の眼科的病変を発見できる
- ・検査機器を正確に使用し、結果を正しく分析できる

■1年研修

- ・糖尿病、高血圧、緑内障、その他長期に亘る慢性疾患を担当し、その疾患の時間的経過を観察する
- ・季節性の疾患を経験する
- ・救急医療を経験する
- ・眼科を通じて関連する全身疾患を検出し、各科と連携して対応する
- ・網膜剥離、糖尿病の治療を担当し、FAG、レーザー治療を行う
- ・白内障、緑内障レーザー治療を計画し、執刀する

■2年研修

- ・専門医に必要な知識を深める
- ・長期経過観察により、反省点を見つけ、最善の結果に近づくよう診断、治療、手術の技術を向上する
- ・希少例を経験する